

<先週の指標の動き>

指標名	数値	コメント
5月第3次産業活動指数 (7/13)	前月比▲2.1% (前年比▲15.9%)	5月の第3次産業活動指数は前月比▲2.1%と、4ヵ月連続の低下。中旬以降、緊急事態宣言が順次解除されたことで、小売業や飲食サービス業が小幅上昇したものの、内外需要の急減を受けた生産活動の低迷により、卸売業などが大幅に低下。 経済産業省は、基調判断を「引き続き低落している」に上方修正。

<国内景気の現状判断と当面の見通し>

(1) 国内景気の現状判断

わが国経済は、新型コロナの影響で大幅な落ち込み。インバウンド需要の減少や世界経済の下振れを背景に、輸出が大幅に減少したほか、国内家計の消費活動も大幅に低下。もっとも、緊急事態宣言の解除後は、外出自粛の緩和などを背景に、景気持ち直しに向けた動き。

(2) 当面の見通し

先行きを展望すると、個人消費の持ち直しなどを背景に、7~9月期にプラス成長に転じるとみられるものの、景気回復ペースは緩やかにとどまる見通し。

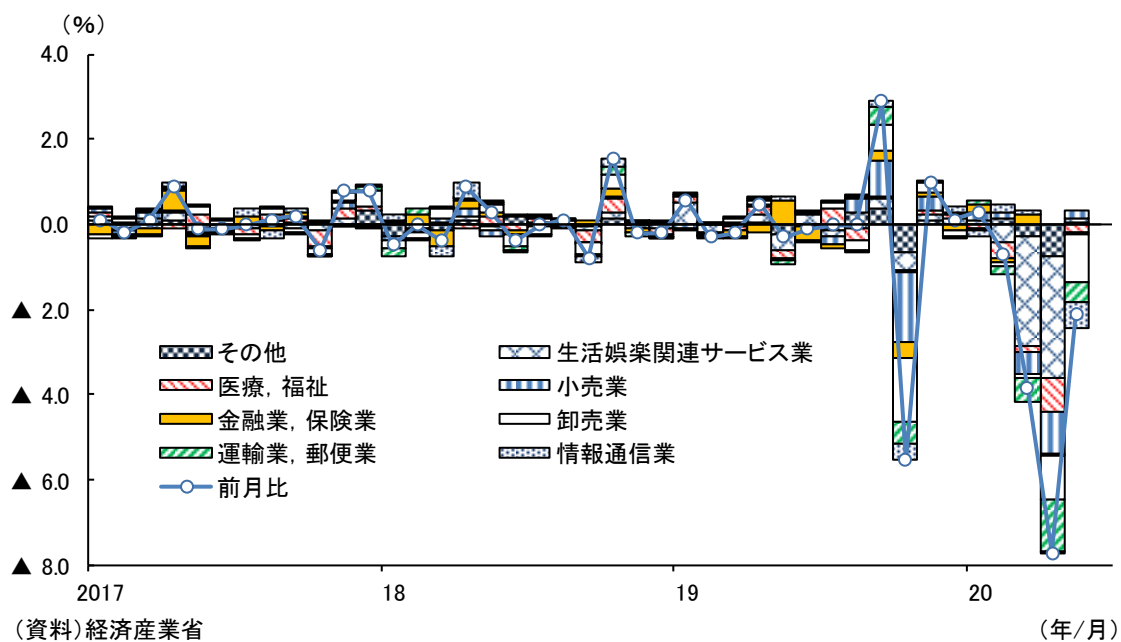
輸出は、諸外国の経済活動再開の足取りが鈍いなか、貿易活動の回復に時間を要するほか、インバウンド需要も、感染再拡大を防止するための入国規制の継続により、当面ゼロの状態が持続。

一方、内需についても、個人消費は、自粛ムードの残存に加え入店規制といった感染防止策が、当面、下押しに作用。雇用所得環境の悪化も重石となり、新型コロナ流行前の水準を下回る状態が長期化する見通し。

<当面の国内主要経済指標等のスケジュール>

月日	指標名等	発表機関
7/20 (月)	6月 貿易統計	財務省
7/21 (火)	6月 消費者物価指数・全国 6月 全国百貨店売上高	総務省 日本百貨店協会
7/22 (水)	6月 チェーンストア販売統計	日本チェーンストア協会

(図表1) 第3次産業活動指数(季節調整値、前月比)



本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。

